

日本共産党議員団は、3月議会に続き、国保税条例改定案(18歳までの均等割制度廃止)とゴミ袋半額に変更する条例改定案を提案し、継続的な生活支援の実行を求めた。採決では2案とも賛成4反対9で否決となったが、いずれも重要な提案であるだけでなく、住民要望の強い課題であることから引き続いて取り組んで行くことにしたい。

提案者は八尾春雄、賛同者は山田美津代である。提案者は討論に加われないので、山田美津代議員の賛成討論を以下に掲載します。

国民健康保険条例改定(18歳までの均等割制度廃止)案に関する賛成討論

山田 美津代

国民健康保険、この高すぎる保険税に悲鳴を上げている町民の思いを感じていますか？年収400万の4人世帯、年40万払っています。協会けんぽでしたら20万円弱です。25年間に1人あたりの国保税が6.5万円から9.4万円に上がったのに国保加入者の平均所得は276万円から138万円に半減しています。全国的に見ても国保税が高すぎて払えず、滞納すると保険証がもらえず、無保険になり医療機関の受診が遅れたため死亡した事例が1年間で63人に上るといふ深刻な事態も起きています。高すぎるこの税は国民の暮らしを苦しめているだけでなく制度の根幹を揺るがしています。全国知事会、全国町村会などの地方団体は加入者の所得が低い国保が他の医療保険より高く、負担が限界になっていることを国保の構造問題だとして、国保を持続可能とするため被用者保険との格差を縮小するような抜本的な財政基盤の強化が必要と主張しています。日本医師会も低所得者の保険税を引き下げ、保険証の取り上げや留め置きをやめるよう求めています。

もともと国民健康保険制度がスタートした時点で国は被保険者に低所得者が多いこと、保険料に事業主負担が無いことなどのため国が負担する必要があると認めていたのに、自民党政権は1984年の法改正で国保への定率国庫負担を削減したのを皮切りに国庫負担を抑制し続けてきました。加入者もかつては7割が農林水産業と自営業でしたが、今では43%が無職、34%が非正規雇用などの被用者で合わせて8割近くになっています。国保に対する国の責任後退と加入者の貧困化、高齢化、重症化が進む中で国保税の高騰が止まらなくなったのです。

この構造的危機を打開するためには国庫負担を増やす以外に道はありません。財源は大企業や大株主に相応の負担を求めることで十分出ます。例えばアメリカなどと比べても高額所得者優遇となっている証券税制を改め株式配当の総合課税や高額株式譲渡所得を欧米並みに30%に引き上げるなど富裕層への証券課税の強化だけで1,2兆円の財源が出ます。国が1兆円負担すれば均等割も平等割も無くすることができ、今の保険税の半額近くに引き下げることができます。

国保税が高い大きな要因は国保にしかない均等割りと平等割りという保険料算定です。被用者保険の保険料は収入に保険税率をかけて計算するだけで家族の人数が保険料に影響することはありません。ところが国保は所得に保険料率をかける所得割、世帯の人数に応じてかける均等割、各世帯に定額でかかる平等割を合算して算定されます。この均等割は家族が1人増えるごとに負担額が上がり、子どもの数が多いほど引きあがる。まるで人頭税だ、子育て支援に逆行していると批判の声が多いのです。人間の頭数に応じて課税する人頭税は古代に作られた税制で人類史上で最も原始的で過酷な税とされています。それが21世紀の公的医療制度に残っているのです。この時代錯誤の仕組みこそ国保税を低所得者や家族の多い世帯に重い負担を押し付けている原因です。

このように国保税の仕組みは、子どもがいれば広陵町の場合1人26100円を加算されるのでこれを解決しなければ安くなりません。反対者はこのことを認識していません。全国の自治体で子育て支援が課題となってい

るときに子どもがいれば負担が増える制度をそのままにしておくわけにはいかないのではないかと思います。反対者はそのようには考えないのですか？

先日の厚生委員会の議論では町民の負担を軽くする議論がすっぱり抜けていて傍聴していてびっくりしました。反対討論にもありましたがこの条例改正案は、2000万減額されるこれをどこかで増やさなければなりません。他の町民に負担がかかるのではないかと質問が出た後に、委員長が提案者でなく何と町長に質問され町長は県の言う通りに「令和6年には保険税を上げなければならない。県はどこに住んでも同じ保険料にすると行って県単位化を進めて従わなければならない。」とこの条例改正案が通ると困るような弁解の説明をされました。どこに住んでも同じ保険税にしてほしいとは県民はだれも言っていません。高すぎるから下げてほしいと思われるのです。

平成30年度決算では2億2946万円の財政調整基金があります。752名の均等割りを廃止すると1963万円の収入減となりますが基金で対応できる金額です。

ここにおられる議員の皆様は何のためにここにおられるのですか？数か月前には「大字の皆様のために議会です。町民の皆様を暮らしをよくするために当選させてください。」と訴えてこられたのではないですか？今がその時です。この条例改正案で町民の願いである暮らしやすい広陵町、国保税引き下げてほしいという願いをかなえるために働けるのです。私は町民の暮らしやすい広陵町のためのこの改正案賛成いたします。

ゴミ袋価格を現行の半額に変更する条例改定案に関する賛成討論

山田 美津代

堀川議員が反対討論で、新ごみ施設リサイクル施設のために財源を確保するべきと言われましたので、私はゴミ袋半額に賛成し討論いたします。

家庭ごみの収集、処理は全町民にかかわる基本業務として無料でおこなうべきものであり、ゴミ袋有料化は税金の2重どりとして無償化をもとめてまいりましたが、分別指定袋の使用年月が経つにつれゴミ分別に努力される世帯が増える中で、分別指定ゴミ袋を無くし無料にしたらこれまで蓄積してきた分別が無駄になりはしないか、ゴミの量が増えるのではないかというご意見が多数あり、そういう方々も11円の単価の袋を45円で売っていたとは！と驚かれています。署名で回りましたところ3年で8900万円もため込みすぎやわ！と半額にして欲しいというお声が強く署名で回りましたところ反響が大きく大きな反響がありました。捨てるものにお金をかけるのはもったいない、とか7人家族で大の袋が1回に2枚も使うので半額ならうれしい！と奥様だけでなくご主人も大賛成で署名して下さるところも多くありました。

ゴミ袋半額のご要望は非常に強くあり是非賛成していただいて町民の暮らし応援にお力貸していただきたいと思っております。議員の奥様も喜ばれると思っておりますよ！